



日進北小だより

令和2年6月1日 6月号 第3号
電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

学校教育目標

心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する
～日本一 すてきなあいさつ 日北っ子～

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>



「さあ、学校再開です！」

校長 平塚 信也

さあ！学校再開です。まだ、3日間の登校日を終えたただけですが、学校は子どもたちの笑顔を注入され生き返ったようです。家も人が住まないと傷み方が早いと聞いたことがあります。開校70周年の（なんと明日6月2日は日進北小の70回目の誕生日です！）本校も力がみなぎってきました。まだまだ制限が多く、不自由で不安ではありますが、家庭・地域との協力と教職員の創意工夫で乗り切っていければと思います。充実した学校生活のために今後ともご協力をお願いいたします。

さて、今回の経験では実に様々なことを考えさせられました。特に「情報」ということではいろいろなことを学びました。もはや子どもたちは、好むと好まざるとに係わらず、情報のあふれる世界の中で生きていかなければならないことを実感として感じました。教育長のメールにもあったように、一人1台のタブレットを使用した教育はすぐそこに来ています。本年度全面実施の学習指導要領にも情報教育に関する内容が大きく載せられています。今月は子どもたちに指導していきたい情報活用能力について3つだけお伝えします。

1 情報機器操作スキル

さいたま市教委から配信されたスタディエッセンスでは、作成した我々教員も、動画をみて学習する児童も大変な戸惑いがありました。低学年のうちからタブレットの取扱いなどの情報教育を進めていきます。

2 情報モラル

情報の負の部分も話題になりました。情報だけではありませんが、言われた相手がどう感じるか、周りの人はどのような気分になるかなどを想像し、自分が正しいと感じることでどんな表現をすればよいか考えることが大切です。まして、匿名性のあるような情報媒体の場合トラブルにも発展しかねません。ネットワーク上のルールやマナーをしっかりと身につかせ被害者にも加害者にもならないように日常的に指導していきます。

3 情報の本質や偏りを判断できる能力

今回は様々な情報が様々なメディアから出されました。誤った情報もありましたし、流されるコロナ関連の映像や解説は、何が正しく何が間違っているのか、正解はどこにあるのか理解し、判断することは大人でも難しいものでした。インターネットなどは誰もが、簡単に情報を発信できるメディアです。鵜呑みにせず、自分自身で判断できるように指導していきます。

今回のソーシャルディスタンスでは人と人とのつながりの大切さも改めて感じました。学校がコミュニティの核となれるよう、児童が情報をよりよく活用できるよう、指導内容、指導体制の充実を図っていきたいと思います。